

## 結 果 の 要 約

1 和歌山県の15歳以上人口891,901人の労働力状態をみると、労働力人口(就業者及び完全失業者)は510,892人で、前回調査の平成12年に比べ14,270人、2.7%減少している。男女別にみると、男性は294,467人、女性は216,425人で、平成12年に比べ男性は4.9%減少、女性は0.4%増加している。

労働力率( )は58.0%で、平成12年に比べ0.1ポイント低下している。また、男性の労働力率は72.3%、女性の労働力率は45.7%で、平成12年に比べ男性は1.3ポイント低下、女性は1.0ポイント上昇している。

( )15歳以上人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

2 就業者数は478,478人で、平成12年に比べ20,679人、4.1%減少している。男女別にみると、男性は272,309人、女性は206,169人で、平成12年に比べ男性は6.7%、女性は0.5%それぞれ減少している。また、65歳以上の就業者数は53,938人(就業者数の11.3%)で、平成12年に比べ4.3%増加している。

3 就業者数を従業上の地位別にみると、雇用者(「役員」を含む。)は357,892人(就業者数の74.8%)、自営業主(「家庭内職者」を含む。)は76,929人(同16.1%)、家族従業者は43,535人(同9.1%)となっている。これを平成12年の割合と比べると、雇用者は1.0ポイント上昇、自営業主は0.5ポイント低下、家族従業者は0.5ポイント低下している。

4 就業者数を産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が85,112人(就業者数の17.8%)と最も多く、次いで「製造業」が69,204人(同14.5%)、「サービス業(他に分類されないもの)」が54,148人(同11.3%)、「医療、福祉」が50,775人(同10.6%)、「農業」が45,446人(同9.5%)などとなっている。

5 就業者の平均週間就業時間は40.5時間で、従業上の地位別にみると、雇用者のうち常雇と臨時雇は、それぞれ42.7時間、28.0時間、役員は44.1時間、雇人のある業主は47.2時間、雇人のない業主は40.2時間となっている。

6 夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である世帯は106,124世帯(夫婦のいる一般世帯248,483世帯の42.7%)で、平成12年に比べ1,783世帯、1.7%減少している。さらに、子供がいて夫と妻ともに就業者である世帯は73,122世帯(同29.4%)で、平成12年に比べ3,231世帯、4.2%減少している。

7 県内に在住する外国人就業者数は2,686人で、平成12年に比べ224人、9.1%増加している。

図1 和歌山県の労働力人口の年齢構成（平成12年，17年）

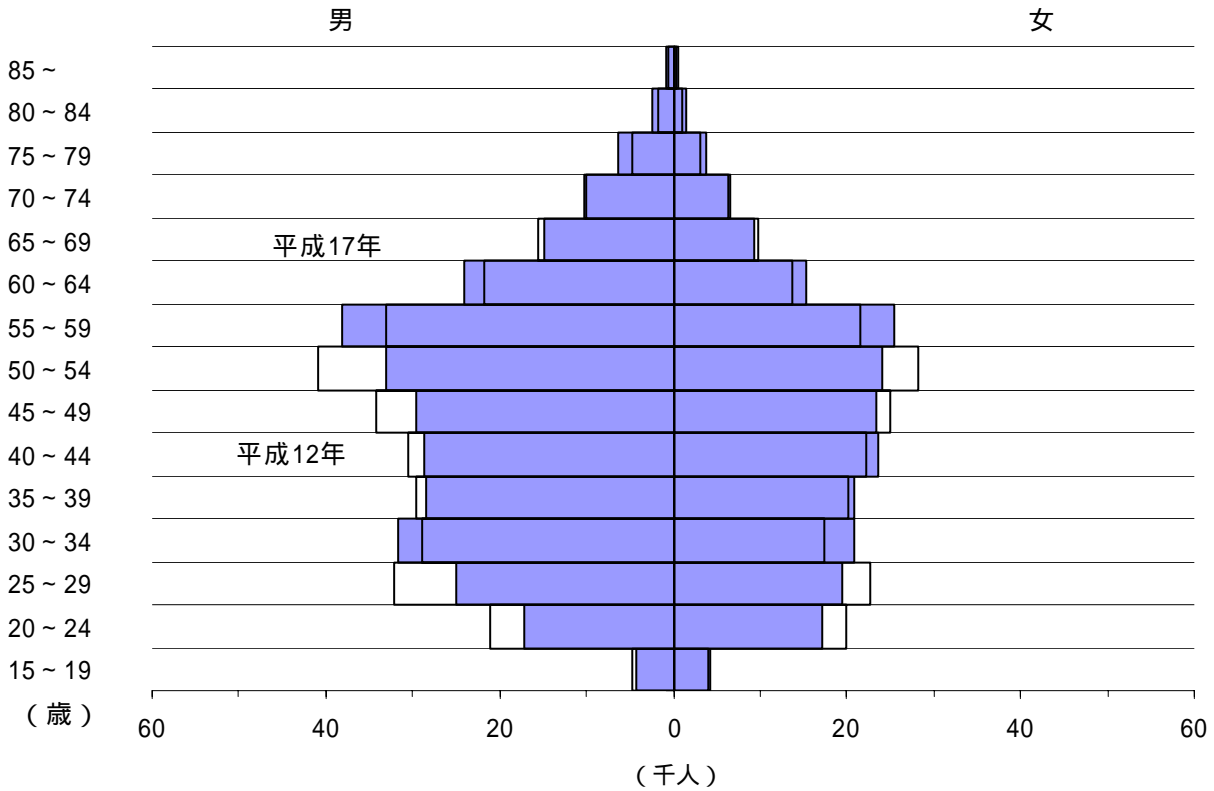
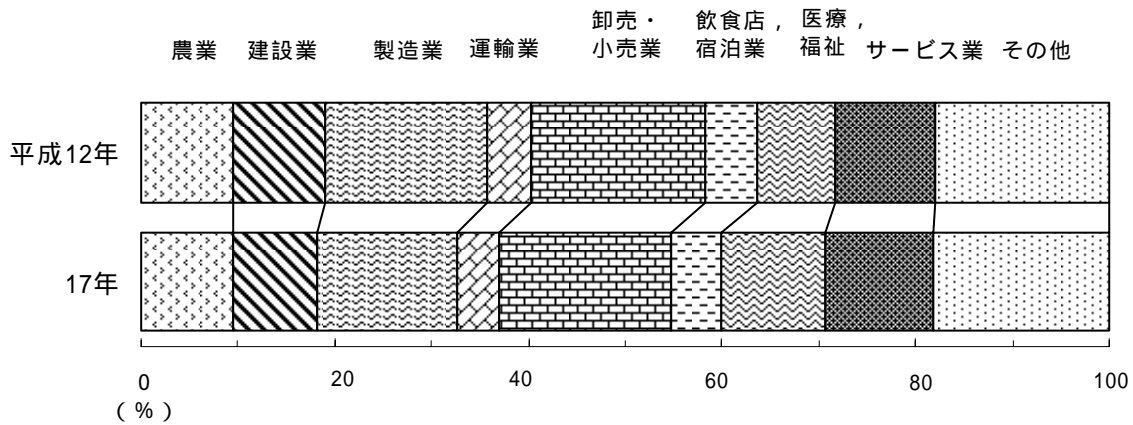


図2 和歌山県の産業（大分類）別15歳以上就業者の割合の推移（平成12年，17年）



（注1）「その他」に含まれるのは、「林業」、「漁業」、「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」である。

（注2）平成12年は、日本標準産業分類第11回改訂(平成14年3月)に伴う組替集計結果による。